

サンレモだより

平成31年度 前期号



渦潮と桜



(編集)

医療法人 佐世保同仁会
サン・レモリハビリ病院 広報部
佐世保市江上町4848-1
☎ (0956) 58-5900

CONTENTS

- 新年度の挨拶 理事長 浅井 貞宏・・・1
院長 吉良 秀秋・・・2
事務長 橋口 公明・・・3
看護部長 森 節子・・・3
- 旧佐世保同仁会病院の進捗状況、他・・・4
- H30年度 研修会まとめ・・・5～6
- H30年度 慰問等総集編・・・7～8
- 通所リハビリ報告
～クリスマス会、福笑い～・・・9～10



<http://www.sasebo-doujinkai.com/sanremo/>



新しい時代に向けて

理事長 浅井 貞宏

今年(平成31年・2019年)は日本にとっても私たち(医)佐世保同仁会にとってもエポックメイキングな年となります。日本は元号が平成から令和に変わります。

(医)佐世保同仁会は、新病院建設と医療機能評価受審です。

旧佐世保同仁会病院の解体は2月末で完了しました。新病院「佐世保国際通り病院」は9月頃より建設開始予定、今から2年弱で完成予定です。

齊藤新病院院長はじめ皆で計画を詰めてゆき、人間性・学問性・経済性に優れた素晴らしい病院にいたしましょう。

6月は、サン・レモリハビリ病院の医療機能評価審査受審になります。5年毎の審査ですので、今回は5つ星を目指しております。今回の審査の経験は佐世保国際通り病院へ異動するスタッフにとっても良い経験になると思います。この審査にはいつも吉良院長に陣頭指揮をとって頂いています。各部署力を合わせて合格への準備をいたしましょう。

今年の春は早く、希望の早咲き桜(河津桜)が病院の庭で2月中旬から満開になりました。みんなで心を1つにして希望へ進みましょう。



春先(2月中旬)になると患者さんから「今年もサクラが見たいです。まだ咲きませんか?」と聞かれるので、院内2か所に早咲きの河津桜を植えました。

みんなで楽しみましょう。



大切にしたいこと

院長 吉良 秀秋

人と仲良くなる方法はいろいろ考えられる。親交を温めるために一緒にお酒を飲んだり遊んだりする事もその一つである。私は一緒に同じ目的を持って共に努力(苦勞)し、これがそれなりの結果を生んだ時、同胞としての強い繋がりができると思っている。それは必ずしも良い結果をもたらすことができなくても同じである。私は戦争の体験は無いが、この究極のものが戦友なのかも知れない。

私達(病院に勤務する者)は、患者様について医師同士治療方針等を話し合ったり、協力したりする。それで患者様が良い方向に向かわれた時、一種の友情が育まれる事になる。これは医師同士に限らず、医師と看護師や介護士等との間でも同じようなことを経験してきた。

本院は長い間高い病床稼働率を続けてきている。療養型病床は将来、市街の中心部にないと入院患者様が減少していきだろうと予想されている。本院は田舎に位置しているため、今後入院患者様は減少していくのだろうか。私が長く本院に勤めて感じているのは、本院のスタッフも自然と近くに住んでいる方が多く、そのような地域の方々の看護や介護に支えられてきたと言える。近くで見えていても、看護や介護の仕事は楽なものではない。患者様を大事にすればする程、大変な仕事である。

この地域からのスタッフはそういった意味でも、本院の評判に大きく影響してきたと思われるし、その事が認められて患者様やご家族の皆様へ感謝されてきたと考えている。これからも、市街の病院には負けたいと思っている。





病院機能評価の受審にあたって

事務長 橋口 公明

当院は、今年6月に病院機能評価の慢性期病院部門で審査を受ける予定となっており、全職員受審に向け準備に取り組んでいます。

病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が第三者の立場で、組織全体の運営管理及び提供される医療について評価を行い、審査のうえ一定の水準を満たしていると認められた病院に対して「認定病院」として認定証を発行するシステムです。

当院は、平成11年に長期療養病院として長崎県で一番目に合格し、以後5年毎の審査に継続合格して認定を受けており、今年度で5回目の受審となります。認定病院は全国2,184病院あり、佐世保市内では当院を含めて7病院が認定されています。当院も、病院機能評価を定期的に受審することを通して、病院全体の客観的把握および継続的な改善活動に繋げていくことができていると思っています。今後も認定病院として、地域に根差し、安全・安心、信頼される医療サービスを提供すべく、継続して病院の質と医療サービスの維持・向上に取り組んでいきたいと思っています。



今日から～そして明日へ～

看護部長 森 節子

サン・レモリハビリ病院の本院である佐世保同仁会病院の建て替え工事に伴って同仁会病院の機能(入院中の患者様・職員・及び業務を含めて)がサン・レモリハビリ病院に移行されたのが今年の4月で、ちょうど桜が満開の季節でした。環境の違い(仮設病棟ゆえの狭さや、公共の交通機関がないこと、その他諸々など)は大きく患者様はじめご家族や職員にも心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。毎日の出来事に一喜一憂しながらも全力で取り組み、おかげさまでやっと生活のリズムも整い始めました。サン・レモリハビリ病院を取り巻く自然環境は素晴らしいものがあります。青くて広い空や海、そして季節の移ろいを教えてくれる草花は、いつも心を和ませてくれます。その自然環境に助けられながら私たちも皆様方の信頼を得られるようになお一層努力していくつもりです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

地域連携室より ～医療情報等報告～

入院費等の経済的不安など、何かお困りごとがございましたら、お気軽にお声掛けをお願いします。患者様やご家族様が安心して療養生活を送れますようお手伝いいたします。

平成30年4月～平成31年3月

■受け入れ患者数 242人

■紹介元 急性期病院 159人
回復期リハ病院 3人
介護保険施設 3人
その他医療機関 53人
自 宅 24人

■入院延べ患者数 111,153人 (医療療養病棟)

■病床稼働率 98.23%

地域連携室 辻田・山田

～旧佐世保同仁会病院 新病院建設の進捗状況～

旧佐世保同仁会病院は、2月末に解体工事が完了しました。新病院の名称は、「佐世保国際通り病院」です。新病院完成に向けて、これから設計施工に拍車をかけて参ります。

私達職員一同も、新病院完成後の体制など、地域の皆様のお役に立てる病院になるよう、サン・レモリハビリ病院で話し合っているところです。

患者様及びご家族様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、今しばらくよろしくお願い致します。



新人スタッフ紹介

| 氏名 (ふりがな) | 資格 | 所属 |
|--------------------|--------|--------|
| 西山 可奈子 (にしやま かなこ) | ケアスタッフ | AF |
| 立石 和江 (たていし かずえ) | 看護スタッフ | AF |
| 森田 栄一 (もりた えいいち) | 看護スタッフ | DF |
| 江山 成美 (えやま なるみ) | 看護スタッフ | DF |
| 澤田 歩 (さわだ あゆみ) | 看護スタッフ | DF |
| 山田 茜 (やまだ あかね) | ケアスタッフ | 通所リハビリ |
| 平尾 カリーナ (ひらお かりーな) | ケアスタッフ | 3F |
| 山口 椎菜 (やまぐち しいな) | 看護スタッフ | 3F |
| 脇田 朝子 (わきた あさこ) | ケアスタッフ | 3F |
| 今坂 由紀 (いまさか ゆき) | ケアスタッフ | 4F |
| 松尾 知美 (まつお ともみ) | 看護スタッフ | 5F |
| 川添 きみ子 (かわぞえ きみこ) | 看護スタッフ | 5F |



H30年度 研修会まとめ

1、「食中毒予防～主な原因と症状」

主催：感染対策委員会 山本 尚司 医師

参加人数・・・118名

・ノロウイルスは、塩素とアルコールで消毒する。

大切なこと

手洗い・うがい、手指消毒を徹底的に行い、感染を未然に防ぐための対策を講じることが大切です。



2、「口腔ケア技術」

主催：看護部教育委員会 (株)モルテン様

参加人数・・・64名

- ・口の主な働き：食べる、話す、呼吸、表情を作ること、等。
- ・口腔ケアの目的：肺炎予防、栄養不足予防、口臭予防
- ・口臭予防→コミュニケーション、
生活の質の改善を期待できる。



3、「心肺蘇生法(BLS)」

山崎 扶治男 健診部長

参加人数・・・181名

日本蘇生協議会(JRC)が提唱する「救命の連鎖」

1. 心肺停止の予防
2. 心肺停止の早期認識と通報
3. 一次救命処置(心肺蘇生とAED)
4. 二次救命処置と心拍再開後の集中治療

救命処置で大事なことは・・・

- ・早く！
- ・強く(押す)！：胸郭が5～6cm沈むように
- ・絶え間なく！(100回/分 以上)



発見者は現場から逃げず、怖がらないで対応し、周りの人にも声掛けを！

4、「身体拘束廃止に向けて取り組み」

主催：身体拘束廃止委員会

参加人数・・・Ns 60名
Cs 54名

身体拘束は、高齢者の生活の質(QOL)を根本から損なう危険性があり、高齢者の身体機能の低下と寝たきりにつながる恐れがある。時に死期を早めるケースも生じかねない。



誰のため・何の為に身体拘束をしなければいけないのか、考えていかなければならない。

体験談

- ・このままずっと続くのかと思うと苦痛だし、関節が痛くなった。
- ・患者様の感じておられることを少し疑似体験したので、そのことを活かして仕事できればと思う。

5、「接遇マナー」

片山 由喜子 看護部長

参加人数・・・192名

6つの心掛け

- ①・挨拶は自分から、心の扉を開ける第一歩です。
→笑顔で、相手の目を見て、相手に聞こえるように、お辞儀を添える事が大事です。
- ②・態度・対応で良い印象づくりをしましょう。
- ③・身だしなみ・姿勢で気持ちを表しましょう。
- ④・言葉遣いと話し方で心遣いを表現しましょう。
- ⑤・電話は声だけのコミュニケーション。
マナーを守って心配りをしましょう。
- ⑥・良い接遇はきれいな環境からつくられます。
・・・(医療の5S)整理・整頓・清掃・清潔・躰



いつでも誰かに聞かれている
見られていることを忘れないで！
患者さんや御家族に喜んで
もらえる接遇に心がけましょう。



6、「とろみ調整剤の正しい使い方」

株式会社 クリスコ様

参加人数・・・Cs 51名

- ・1991年頃から「飲み込みやすい」食形態を目指し、病院食などで『とろみ付け』が広まってきました。
- ・とろみ調整食品とは、粘度の低い液体を増粘し、飲み込みやすいように工夫された食品のことです。
(おもに食塊形成、咽頭流入速度の調整をします)



平成30年度

総集編～こんなことがありました～

由紀流(ゆうきりゅう)の舞(H30年2月10日)

長崎県由紀流日本舞踊練舞会
(川棚町)の皆さん



プログラム

- 1、連れ語り伊勢音頭…小学5・6年生
- 2、花かげ…2・3年生
- 3、祝い目出度…中学1・2年生
- 4、花笠音頭
- 5、織田信長…先生
- 6、まつの木小唄
…皆さんと一緒に踊りました

ベアーブーケも
頂きました
(受付カウンター)

当院入院中の最高齢(103歳)の方に、
お礼の言葉を言って頂きました。

チャンジューバンドライブ(H30年10月27日)

チャンジューバンド演奏会

1. 上も向いて歩こう
2. 函館の女
3. ここに幸あり
4. 噂くば小丸島よ
5. 南国土佐を懐にして
6. 夢追い酒
7. 悲しき口笛
8. 昔の名前で出ています
9. 宗右衛門アブレス
10. 紅葉
11. 里の秋
12. 古城
13. 青い山脈 みんなで唄いましょう



ビートの効いたバンドの生演奏にあわせて一緒に
口ずさんだり、楽しいひとときでした。



ゆう佳 コンサート(H30年12月14日)



今回で3回目のコンサートでした。童謡をはじめ、アメイジンググレイスやきよしこの夜など、クリスマスにちなんだ楽曲が奏でられ、とても楽しいひとときでした。



番外編 ~入院患者様(A棟・5階)ご家族様の結婚式~ (H30年9月13日)

病院で、人生の門出に立ち会えたこと、スタッフ一同 今年度で一番うれしかった出来事です。みんな心から祝福しました。どうぞ 末永く お幸せに…



Happy Wedding!





通所リハビリ クリスマス会 & 福笑い



クリスマス会



平成30年12月19日(水)・20日(木)

通所リハビリのクリスマス会を行いました。

プレゼント交換やケーキ作りを皆さん楽しみました。



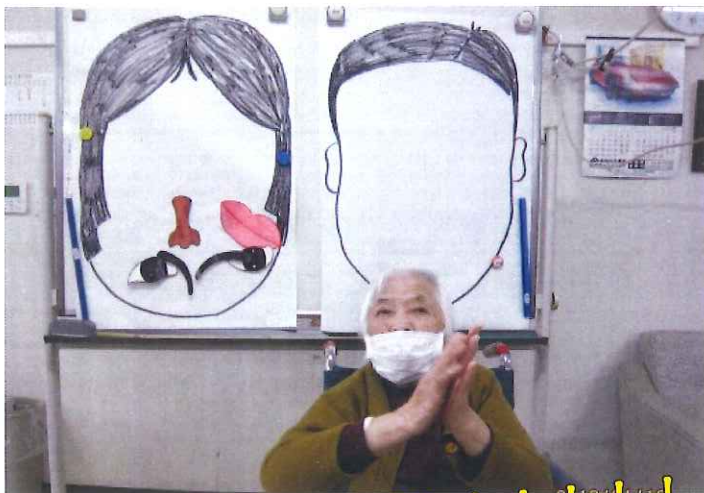
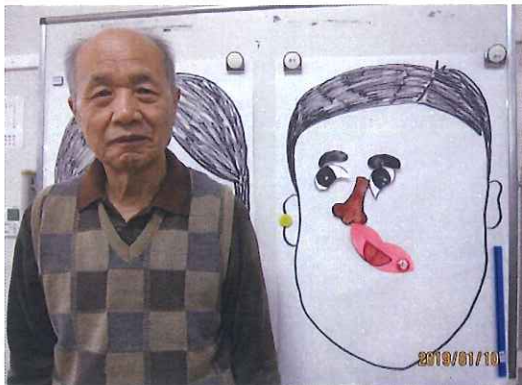
福笑い



平成31年1月10日(木)・11日(金)
年初めの福笑いを行いました。



作品紹介



さあどんな顔になってるでしょう?



今年初めの、大傑作!!!!

お知らせ

～職員募集～

サン・レモリハビリ病院のスタッフ(看護職員・介護職員)を随時募集しております。
詳しくは、当院までお尋ねください。

事務部

～忘れ物コーナー～

忘れ物のコーナーを2階受付に設置しています。
お心当たりのある方は、受付のスタッフにお尋ねください。

医事受付



花言葉

「桜」: 精神美、優雅な女性、純潔

「菜の花」: 快活、競争、元気いっぱい、
豊かさ・財産



佐々川沿いの河津桜と菜の花(2019.3.1)



夜間玄関付近にある
早咲き桜、
今年は3月初旬ごろ
咲きました。



編集後記

今年度から広報誌内容をリニューアルしました。入院患者様ご家族様をはじめ、一般の方々に当院の取り組み等を紹介したり、興味・関心のあることをお伺いして特集していきたいと思っております。

ご意見・ご要望などがありましたら、遠慮なくスタッフへお尋ねください(ご意見箱もご利用ください。)

(広報スタッフ一同)